



競技運営委員長 中田 将次

総務委員長 月成 憲一

審判長 塚崎 邦嗣

1 会場について

(1) トラック競技

久留米競輪場 〒839-0862 福岡県久留米市野中町 2

TEL : 0942-43-3996

(2) ロード競技

山鹿市総合体育館（カルチャースポーツセンター）特設コース 〒861-0511 熊本県山鹿市 熊入町 416

TEL : 0968-43-0090

2 受付について

(1) 選手・監督受付

日時：平成 29 年 11 月 3 日（金） 13:00～13:45

場所：久留米競輪場 正面スタンド下 記者席 セクレタリアリア

ライセンス（2017 年 J C F 登録証）は、学校単位で受付時に確認する。

ロード競技のみに出場する学校も、受付・監督会議に必ず出席すること。

(2) 配付物

①プログラム

配布しない。

レース当日に startlist をチームに 1 部配布する。

②ゼッケン

男子トラック 白地×黒文字

女子トラック 白地×赤文字

男子ロード 黄地×黒文字

女子ロード 黄地×赤文字

ロード競技のゼッケン、計測チップについては、11 月 6 日（月） 7:30 より、体育館エントランス前で配布する。

※レース終了後、直ちに本部に返却すること。また、紛失した場合は実費（20,000 円）を請求する。

(3) 選手変更・欠場申請、引率責任者・監督・チームサポート変更申請、プログラム記載事項訂正申請、その他申請については、受付時に書面で提出すること。

3 監督会議について

(1) 日時：平成 29 年 11 月 3 日（金） 15:00～

(2) 場所：久留米競輪場 正面スタンド下 記者席

(3) 監督会議では監督・引率責任者の受付確認を行う。

4 開会式について

(1) 日時：平成 29 年 11 月 3 日（金） 16:00～

(2) 場所：久留米競輪場 ホームストレッチ ※荒天の際は別途案内する。

(3) 服装：各都道府県又は学校統一のものとする。

開会式（セレモニー）には、大会参加者全員参加すること。



5 **トラック競技表彰式**

- (1) 日時：競技日程参照
- (2) 場所：久留米競輪場 ホームストレッチ ※荒天の際は別途案内する。
- (3) 集合：表彰を受ける選手は 10 分前に集合・待機し、式典委員の指示に従うこと。
- (4) 服装：登録されたユニフォームとする。

6 **ロード競技表彰式・閉会式について**

- (1) 日時：平成 29 年 11 月 6 日（月） 13:30～
- (2) 場所：山鹿市総合体育館 エントランス
- (3) 集合：表彰を受ける選手、学校は 10 分前に集合・待機し、式典委員の指示に従うこと。
- (4) 服装：入賞者は登録されたユニフォーム、入賞校は登録されたユニフォームまたは学校統一のウェアとする。
その他の参加者は各都道府県又は学校統一のものとする。
- (5) その他：総合成績の結果をインフォメーションボードで確認すること。
※体育館内はレーザーシューズでの出入りを禁止する。

7 **トラック競技会場（久留米競輪場）について**

- (1) 駐車場について
＜久留米競輪場＞
 - ①管理棟裏駐車場、場内は荷物の積み降ろしのみ許可する。完了後はすみやかに第 5 駐車場へ移動すること。
 - ②保護者含む応援者の車両についても、第 5 駐車場へ駐車すること。指定以外の場所や路上へに駐車厳禁とする。
- (2) 久留米競輪場の施設（敷地内）利用について
 - ①大会期間中は、場外発売が行われてるため、立入禁止区域には、絶対に入らないこと。
 - ②ホームスタンド及びスタンド裏をピットとして開放する。区割りは行わないので、譲りあって使用すること。
 - ③競輪場内の電源の使用は原則禁止とする。コンプレッサー使用時の発電機の使用は認めるが注意を払うこと。
※電源を使用する際は、大会本部に届けて許可を得ること。
 - ④女子の更衣については、敢闘門横に更衣エリアを設定する。
 - ⑤競輪場内に張り出すチーム応援横断幕、のぼり旗等は、ホーム側のフェンスより外側に限定する。観戦の妨げにならないよう配慮すること。
 - ⑥場内に設置されているゴミ箱にはゴミを捨てないこと。ゴミ等は各自各校にて持ち帰ること。
- (3) 自転車の保管について
自転車の保管については、検車場を開放するが、紛失、破損、事故等の責任は負わない。
また、備え付けの備品等には一切手を触れないこと。また、ごみ等も必ず持ち帰ること。

8 **トラック競技公式練習時間について**

下記日程を除き、朝の指定練習の時間は設定しない。

- (1) 指定練習時間について
11/3（金）13:00～15:45 久留米競輪場
- (2) 練習の際には、必ず監督、またはチームサポートが選手とともに入場し、管理すること。
- (3) 練習の入退場について
入場・退場は、ホーム側の出入口に限定する。役員の指示に従って移動し、走路に入る際はアップシューズとする。
- (4) 練習中の接触・落車等による機材の破損については、レース中の事故と同じ扱いとし、賠償等の責任は持たない。



9 | **ロード競技会場（山鹿市総合体育館）について**

(1) 駐車場について

- ① 監督会議で配布する、案内図を参照の上、指定された場所に駐車すること。
- ② 係員の誘導に従って駐車し、指定以外の場所や路上は駐車厳禁とする。
- ③ 「駐車許可証」はダッシュボードの見える場所に置くこと。※監督会議で配布する。
- ③ レース中の移動は緊急車両を除き禁止する。

(2) コースの試走について

- ① 試走時間について 11/6（月）8:00～8:30 に設定する。これ以外の時間の試走は禁止する。
※前日も含めて、この時間帯以外の試走は禁止する。
- ② 試走中の事故等のトラブルは、当事者同士で解決すること。
- ③ 選手間の接触・落車等による機材の破損については、レース中の事故と同じ扱いとし、賠償等の責任は持たない。
- ④ 試走中でも、レース中と同様にゴミの投げ捨て等を禁止する。

(3) その他

- ① 体育館内は床面保護の観点より、レーサーシューズでの歩行は厳禁とする。
- ② エントランス付近のガラス面への自転車の立て掛け等については厳禁とする。
- ③ 機材紛失等のトラブルについて大会本部では責任を負わない。

10 | **宿泊関係について**

- (1) 貴重品管理は各校の責任とする。
- (2) 宿舍内の備品・器物の破損や紛失がないよう、十分注意すること。
- (3) 宿舍内は、レーサーシューズでの歩行は禁止する。
- (4) 。備え付けの備品等の破損がないよう注意すること。別途、注意事項がある際は遵守のこと。
※ホテル内での自転車整備や、部屋への自転車の持ち込みは禁止する。
- (5) 常に整理整頓を心掛けること。
- (6) 久留米の宿泊施設は、駐車場代が別途かかります。予めご了承下さい。

11 | **交通規則の遵守について**

宿舍と競技会場間の移動及びロード練習では、常に交通規則を遵守するとともにヘルメット着用を義務づける。引率責任者、監督は責任を持って指導すること。

12 | **荷物輸送について**

- (1) 荷物を送る場合は、事前に宿舍と調整すること。
- (2) 競技会場（トラック・ロード会場共に）での、荷物の受け取りは行わない。
- (3) 競技終了後の荷送り、荷物の引き渡しは当事者間で直接行うこと。大会本部では対応しない。

13 | **昼食弁当の配布について**

<トラック会場> 期日：平成 29 年 11 月 3 日（金）～5（日）11:00 配布 ～14:00 回収
配布場所：正面スタンド下 記者席 大会本部内 名鉄観光サービス（株）ブース

<ロード会場> 期日：平成 29 年 11 月 6 日（月）11:00 配布 ～14:00 回収
配布場所：山鹿市総合体育館 エントランス 名鉄観光サービス（株）ブース

14 | **問い合わせ先**

〒860-0073 熊本市中央区新町 4-1-18 新町 CNT503 TEL: 070-1943-4166 担当：中田将次



<大会特別規則・確認事項>

1 共通事項

JCF 競技規則 2017 年 4 月版、実施要項、および本大会特別規則で実施する。

2 ユニフォーム (ジャージ・パンツ)

全国高体連登録ユニフォームの着用を原則とする。やむを得ず、登録外ユニフォームを着用する際は、監督会議で承認を受けること。

3 ヘルメット

JCF 公認ヘルメット、もしくは JKA 認定品 (競輪用) を装着すること。エアロヘルメットは TT 系種目のみ使用可能 (競走系種目、練習では使用不可) 破損、ひび割れ、公認シールのないものは使用できない。

※競走系種目で使用するヘルメットキャップが装着できるヘルメットとする。

4 ゼッケン

種別	ボディナンバー色	備考
トラック 男子	白地×黒文字	腰部に 2 枚、TT 系種目は腰部に 1 枚でも可
トラック 女子	白地×赤文字	※上に同じ
ロード 男子	黄地×黒文字	腰部に 2 枚
ロード 女子	黄地×赤文字	※上に同じ

トラック競技の競走系種目においては、ヘルメット・カバーを使用する。

5 自転車

チーム (競技者・監督・メカニック) の責任で競技規則 規定内に調整の上、参加のこと。

競技規則の例外適用 (身体形態上の理由) の申請は、トラック競技 11/3 15:00、ロード競技 11/6 8:00 まで申請は、競技者が使用する自転車と共に審判長まで申し出ること。(書類は不要)

ギア比: 男子・女子ジュニアを適用 7.9 3m (競技規則参照)

6 招集

トラック競技: バンク内召集エリア 締切時間: 各競技者の競走開始 15 分前まで

ロード競技: カルチャースポーツセンターエントランス サインシート記入時間: 8:30~8:55 まで

出走者自身がサインシートに記入し、装備 (自転車、ユニフォーム、ヘルメット) の確認を受けること。

7 表彰

表彰対象者は、登録ユニフォームで出席すること。

8 電子計時

本大会のトラック競技では、光電センサを利用した電気計時を採用する。

計測タイミング時、対象選手以外の者が測定ライン (Finish 線、中央線) を横切ると正確な計時が不可能となるため注意すること。



9 トラック・レース

競技規則 第 6 3 条、第 6 6 条 9～1 5 項を熟読し順守すること。

(1) 罰則 罰則への抵触・違反により、注意・警告・降格・失格を適用する。

大会期間中は種目に関わらずすべて累積する。注意 2 回→警告 1 回、警告 2 回→降格・失格、降格 2 回→失格

(2) タイム・トライアル (TT) / 個人追抜 (IP)

共通：スターティング・マシーンに自転車をセット、準備完了後 15 秒 カウントダウンにてスタートする。監督、コーチ、チームスタッフは、自転車のセット等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。

TT、IP：ホーム・バック同時スタートにて実施（プログラムの記号はスタート/フィニッシュを確認のこと）

IP：タイムレース方式より、追抜かれた競技者も競技の継続は可能、ただし競技規則を遵守のこと。

女子 500mTT：ホーム単独スタート方式（スタートは中央線、フィニッシュは 1 センター）

(3) スプリント (SP)

予選 → 1/8 決勝 (16 人) → 1/4 決勝 (1 回戦) → 1/2 決勝 → 3-4 位決定戦 / 決勝 / 5-8 位決定戦

予選：2 周の内、ラスト 200m を計時計測、スタートはブルーバンドより、前競技者が 1 周回通過後に次走選手がスタートする。

スタンドスタイル（停止）：2 回まで 合計 3 0 秒以上経過すると、競技継続を指示、従わない際は競技規則を運用

(4) ポイントレース (PR)

競技距離：予選 16km (40 周)、決勝 24km (60 周回)

ニュートラゼーション：3 周回 (1,300m 近い距離)

ニュートラゼーションの復帰が最後の 1km 以内となり競技に戻れないとき、または最終 5 周回以内の認められた事故のとき、所属していた集団の最後尾にフィニッシュしたと認定する。

最終ポイントは倍点 (10 点、6 点、4 点、2 点)

周回ラップ：追いつき時：+ 2 0 点、追いつかれ時：- 2 0 点 (M 集団を基準)

除外：周回遅れて、競走に支障がある時 (入賞の可能性がない等含む) はレースより除外する。

スタート：スプリンターライン：ヘルメットキャップ奇数番号、走路外側：ヘルメットキャップ偶数番号 1 番キャップ以外は先着順

ホルダー：同チームの監督・チームスタッフにて (不足する際は競技役員) 行う。

(5) ケイリン (KE)

ラウンド 1 回戦 → 1 回戦敗者復活戦 → 2 回戦 → 準決勝 → 決勝 / 順位決定戦 (2 回戦の敗者)

競走は周長 400m 走路 4 周回で実施する。

スタートにおいて競技者はペーサーの直後で抽選によって決定された位置を取り、スタート後少なくとも最初の周はペーサーの後ろにつかなければならない。すみやかに追走しない際は、その競技者を除外し、再スタートする。

ペーサーはスプリンターラインの内側を走り、スタート時は 30 km/h、フィニッシュ 1.5 周前の測定線 (200m) を過ぎてトラックを離れるまでに、徐々に 50 km/h まで加速する。

一人または、複数の競技者が、ペーサーがフィニッシュラインにおいてトラックを離れる前にペーサーの前輪前端を追い抜いた場合、競技を停止し、失格とされる違反競技者を除外して再スタートとする。

競走中に全競技者が落車等事故の際は救済措置により再スタートとする。

スタート後 半周以内の事故が発生したとき、再スタートとするが、半周以降の事故は再レースとはならない。事故の内容により制裁の対象となる。

コンタクトプレー等 (第 71 条 8 項 順守違反) については、厳しい態度と裁定で対応する。

ホルダー：同チームの監督・チームスタッフにて (不足する際は競技役員) 行う。



(6) スクラッチ (SC)

競技距離：予選 6km (15 周回)、決勝 8km(20 周回)で実施する。

追抜かれた競技者：周回遅れでメイン集団に追付かれた競技者は除外とする。

回数と順位：先頭の競技者を基準とし、周回数が同一のとき最後のスプリント着順で順位を決定する。

ニュートラゼーション：3 周回 (1,300m 近い距離)、最後の 1km は競技に戻ることは出来ない。

最後の 1km で競技に戻れないときは、所属していた集団の最後尾にフィニッシュと認定する。

スタート：スプリントレーン：ヘルメットキャップ奇数番号、走路外側：ヘルメットキャップ偶数番号 1 番キャップ以外は先着順

ホルダー：同チームの監督・チームスタッフにて (不足する際は競技役員) 行う。

(7) ヘルメットキャップ

採用種目：ポイントレース、ケイリン、スクラッチ

1.0 ロードレース

(1) 競技距離

コースの特性上、予選を実施する。

男子：予選 10km (5 周回) × 2 組 ※上位 25 名が決勝へ 決勝 60km (30 周回)

女子：決勝 30km (15 周回)

(2) 順位の決定 規定の距離を完走した競技者の着順により決定する (規則違反を除く)

(3) スタート スタートラインより先導バイクによりニュートラルでスタートし、スタート態勢が整った時点で解除、正式スタート

(4) 遂行車両 先導バイク (COM1 兼務)、最後尾バイクの計 2 台 (予定)

(5) ニュートラルエリア

下記の場所に限り、機材交換を認める。但し、大会本部指定のビブスを着用すること。

① S/F 地点 ② 第 4 駐車場 ③ 第 1 駐車場入口 ※女子も同様

ビブスを着用したチームスタッフ以外からの機材交換は失格の対象とする。

(6) 打ち切り 8 位の選手を含む集団より、2 分遅れた際は原則レースより除外する。 ※女子も同様とする。

(7) フィニッシュ 最終周回は体育館を周回せず、直線道路をそのまま直進しフィニッシュとする。

フィニッシュ後は、速やかにバイクチェックを受けること。

(8) 飲食物の補給エリアは、設置しない。

(9) ゼッケンについては、ロード用のゼッケンを使用する。 ※男子：黄地×黒文字 女子：黄地×赤文字

(10) 遵守義務 コース上へ投棄を禁止する。飲料・ボトル・衣類等は指定された場所の路肩に安全に置くこと。

※ガラス製容器は携帯、使用を禁止

(11) バイク (ギア) チェック 男子の上位 20 名、女子の上位 5 名程度の選手に対して、重量及びギヤ比のチェックを行う。

フィニッシュ後、役員の誘導に従うこと。 ※違反が発覚した際は失格の対象となる。

1.2 コミュニケの配布

今大会のコミュニケ等については、紙媒体での配布は行わない。

右の熊本県自転車競技連盟公式 LINE アカウント@kumamoto-cfにて配信する。

ポイントレースのスタートリストについて、11/5 の朝にチーム分配布する。

